

焼きおにぎり

十月のプールの枯葉つつきけり

算盤の五玉の固し稲光

立待や寿司屋の椅子に足ふらり

天際の雲映す目や馬肥ゆる

農場の杭に手袋刺されをり

浮寝鳥ワルツのように流されて

冬薔薇ここの家主は石油王

なぞりたる絨毯の紋毛羽立ちて

燕来る鋏通しし布に癖

鶏に顔覚らるる二月かな

野を焼けば茎黒黒と交わりぬ

箸置に箸の翳りや長閑なる

日に白むタペストリーやメロン食ふ

白繭をシャーレに優しく戻したり

焼きおにぎり売つてをりたり避暑の宿

翡翠の背に星空を宿しけり